



平成30年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月7日

上場会社名 株式会社 吉野家ホールディングス
 コード番号 9861 URL <http://www.yoshinoya-holdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 泰貴

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 グループ企画室長 (氏名) 松尾 俊幸

TEL 03-5651-8800

四半期報告書提出予定日 平成29年7月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	48,493	4.2	748	393.3	837	162.0	419	222.3
29年2月期第1四半期	46,529	1.5	151	58.3	319	46.5	130	48.5

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 166百万円 (%) 29年2月期第1四半期 184百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	6.51	
29年2月期第1四半期	2.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	115,286	56,730	48.8
29年2月期	114,947	57,209	49.4

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 56,274百万円 29年2月期 56,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		10.00		10.00	20.00
30年2月期					
30年2月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	100,200	7.2	2,100	122.2	2,400	103.6	1,100	30.1	17.05
通期	202,000	7.1	4,400	135.9	5,100	85.4	2,100	68.2	32.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期1Q	65,129,558 株	29年2月期	65,129,558 株
期末自己株式数	30年2月期1Q	608,471 株	29年2月期	608,107 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期1Q	64,521,368 株	29年2月期1Q	64,523,536 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年3月1日から平成29年5月31日まで)の連結業績は、連結売上高が484億93百万円(前年同期比4.2%増)、連結営業利益は7億48百万円(前年同期比393.3%増)、連結経常利益は8億37百万円(前年同期比162.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億19百万円(前年同期比222.3%増)となりました。

当社グループでは、10年先を見据えた長期ビジョン「NEW BEGINNINGS 2025」の実現を目指し、前期より「3ヵ年中期経営計画」を始動いたしました。当期を含むファーストステージの3年間は、セカンドステージ以降における成長のシーズを生み出す3年間と位置付け、「ひと・健康・テクノロジー」をキーワードに、「飲食業の再定義」を目指し、これまでの飲食業になかった新しい価値創造に向け活動してまいります。中期計画の2年目となる当期につきましては、主要セグメントである吉野家において、積極的な新商品開発を行い、既存店客数の拡大を目指します。国内では、はなまる・京樽を、海外においてはアジアを中心とした出店による成長・規模拡大を進めてまいります。また、セカンドステージを見据え、成長へ向けた実験・検証を積極的に行ってまいります。

セグメント概況につきましては、次のとおりであります。

[吉野家]

売上高は、240億1百万円と、対前年同期比1.0%の増収となりました。

増収の主な要因は、Tポイントデータをもとに、お客様の多様なニーズにお応えする商品として「豚スタミナ丼」「黒カレー」などの新商品を積極的に導入したことや、リニューアルした朝食として「辛子明太子定食」「ハムエッグ定食」を販売しお客様のご利用シーンの拡充を進めたこと、外食チェーンとして初めてとなる機能性表示食品「サラシア入り牛丼の具」を吉野家の公式通販ショップにて3月から販売を開始したこと等であります。また、新規顧客層の獲得や生産性向上、従業員労働負荷の軽減を目的として、次世代店舗の実験を行っており今後も新しい店舗モデルの構築に向け、更なる実験検証を進めてまいります。セグメント利益は、アルバイト時給の上昇や社会保険の適用拡大等による人件費の増加等があったものの、増収および売上原価の低減により、9億15百万円と、対前年同期比52.2%の増益となりました。同期間の店舗数は、7店舗を出店し、7店舗を閉鎖した結果、1,207店舗となりました。

[はなまる]

売上高は、67億1百万円と、対前年同期比14.5%の増収となりました。

増収の主な要因は、積極的な出店に伴う店舗数の増加であります。今後も、駅前や駅ナカなどへの新立地およびショッピングセンター内への出店を進めてまいります。また、4月には全店規模の大型販促「天ぶら定期券」を実施し、多くのお客様からご好評を頂き、客数の底上げが図られました。春の季節限定メニューとしては「特選 海鮮松前漬けのどろ玉ぶっかけ」を販売いたしました。今後もお客様満足度の向上につながる販売促進および商品開発に努めてまいります。セグメント利益は、増収により、4億64百万円と、対前年同期比82.6%の増益となりました。同期間の店舗数は、14店舗を出店し、2店舗を閉鎖した結果、444店舗となりました。

[アークミール]

売上高は、57億55百万円と、対前年同期比3.0%の減収となりました。

既存業態の客数回復策として、前期までは毎月29日に開催していた「肉の日」を2日、9日の2日間に開催日を増やしました。さらに、各業態プラスワンメニューの拡充を図り、「ステーキのどん」は、「リブロインスタンプカード」を新規導入し、「しゃぶしゃぶどん亭」は、「ホリデーランチ」の「日替わり・週替りメニュー」を導入する等、お客様の様々なニーズにお応えいたしました。また、3月にはグループでは吉野家に続いてTポイントを導入いたしました。価値ある商品開発・来店動機の喚起など、マーケティングデータに基づく、販売戦略強化への取り組みを開始いたしました。しかしながら、しゃぶしゃぶ業態における競争の激化による「どん亭」の客数減少の影響等で減収となりました。一方、マネジメント力強化の為の営業組織の再編成などにより、原価、人件費の適正化を図り、セグメント利益は68百万円と、対前年同期比79.3%の増益となりました。同期間の店舗数は、2店舗を閉鎖した結果、182店舗となりました。

[京樽]

売上高は、68億10百万円と、対前年同期比6.4%の増収となりました。

増収の主な要因は、「海鮮三崎港」を中心とした出店に伴う店舗数の増加であります。また、ご好評を頂いているテイクアウト事業における「ひな祭りフェア」「中巻セール」や外食事業における「本まぐろ祭り」「まぐろ頭肉フェア」「(赤皿)99円セール」等を効果的に実施したことにより、既存店売上高が好調に推移したこと等でありませぬ。回転寿司業態では、産地指定した旬の食材を用いた商品を販売するなど差別化を図りました。増収等により、セグメント利益は2億44百万円と、対前年同期比175.4%の増益となりました。同期間の店舗数は、7店舗を出店し、6店舗を閉鎖した結果、330店舗となりました。

[海外]

売上高は、46億17百万円と、対前年同期比12.6%の増収となりました。

増収の主な要因は、中国やマレーシア等の売上高が好調に推移したこと、積極的な出店により海外店舗数が増加したこと、前年第2四半期より吉野家シンガポールを直営化したこと等でありませぬ。しかしながら、セグメント利益は、一部エリアで人件費が上昇したことや、出店や改装に伴う減価償却費の増加等により、3億14百万円と、対前年同期比5.3%の減益となりました。同期間の店舗数は、20店舗を出店し、7店舗を閉鎖した結果、746店舗となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億39百万円増加し、1,152億86百万円となりました。これは主として、出店・改装等の設備投資により有形固定資産が5億78百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8億17百万円増加し、585億55百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が4億65百万円、長期借入金が3億26百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億78百万円減少し、567億30百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末比で0.6ポイント減少し48.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日から平成30年2月28日)は、既に公表しておりますものから修正は行っておりませぬ。なお、当該業績予想は、当社グループが現時点までに入手可能な情報から判断して、合理的であるとした一定の条件に基づいたものです。実際の業績は、「天候」「景気動向」等の様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,474	24,384
受取手形及び売掛金	3,727	3,884
商品及び製品	3,148	3,572
仕掛品	25	48
原材料及び貯蔵品	2,598	2,454
その他	3,627	4,119
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	38,600	38,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,362	28,833
その他(純額)	16,816	16,924
有形固定資産合計	45,178	45,757
無形固定資産		
のれん	1,537	1,483
その他	2,338	2,497
無形固定資産合計	3,875	3,981
投資その他の資産		
投資有価証券	4,335	4,291
差入保証金	15,599	15,629
繰延税金資産	1,797	1,723
その他	5,782	5,662
貸倒引当金	△222	△221
投資その他の資産合計	27,292	27,084
固定資産合計	76,346	76,823
資産合計	114,947	115,286

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,053	5,519
短期借入金	5,321	5,302
1年内償還予定の社債	750	750
1年内返済予定の長期借入金	7,397	7,055
リース債務	1,025	1,027
未払法人税等	463	280
賞与引当金	1,362	1,988
役員賞与引当金	71	11
株主優待引当金	296	436
資産除去債務	79	46
その他	10,708	10,818
流動負債合計	32,530	33,235
固定負債		
長期借入金	18,019	18,346
リース債務	2,788	2,634
退職給付に係る負債	624	625
資産除去債務	2,585	2,626
その他	1,188	1,086
固定負債合計	25,207	25,319
負債合計	57,737	58,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,265	10,265
資本剰余金	11,551	11,551
利益剰余金	38,035	37,810
自己株式	△744	△745
株主資本合計	59,107	58,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	3
為替換算調整勘定	△2,353	△2,596
退職給付に係る調整累計額	△13	△14
その他の包括利益累計額合計	△2,363	△2,607
非支配株主持分	464	456
純資産合計	57,209	56,730
負債純資産合計	114,947	115,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	46,529	48,493
売上原価	17,049	16,847
売上総利益	29,479	31,646
販売費及び一般管理費	29,328	30,898
営業利益	151	748
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	75	0
賃貸収入	86	90
持分法による投資利益	70	37
雑収入	211	143
営業外収益合計	456	281
営業外費用		
支払利息	65	57
為替差損	96	28
賃貸費用	74	58
雑損失	52	48
営業外費用合計	289	192
経常利益	319	837
特別利益		
固定資産売却益	83	0
特別利益合計	83	0
特別損失		
減損損失	74	50
契約解約損	2	13
災害による損失	21	-
特別損失合計	98	64
税金等調整前四半期純利益	303	773
法人税、住民税及び事業税	491	505
法人税等調整額	△302	△145
法人税等合計	188	359
四半期純利益	114	413
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	130	419

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	114	413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△1
為替換算調整勘定	△343	△177
退職給付に係る調整額	1	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	42	△67
その他の包括利益合計	△299	△247
四半期包括利益	△184	166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△167	175
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	△9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至 平成28年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	吉野家	はなまる	アーク ミール	京樽	海外	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	23,549	5,794	5,931	6,357	4,100	45,734	795	46,529	—	46,529
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	213	60	—	42	—	316	97	414	△414	—
計	23,763	5,855	5,931	6,399	4,100	46,050	893	46,943	△414	46,529
セグメント利益	601	254	38	88	331	1,313	△22	1,291	△1,139	151

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社6社を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,139百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,157百万円、セグメント間取引消去55百万円及びのれんの償却額△37百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	吉野家	はなまる	アーク ミール	京樽	海外	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	23,727	6,634	5,736	6,763	4,617	47,479	1,014	48,493	—	48,493
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	274	67	18	46	—	406	135	542	△542	—
計	24,001	6,701	5,755	6,810	4,617	47,886	1,150	49,036	△542	48,493
セグメント利益	915	464	68	244	314	2,005	13	2,018	△1,270	748

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社8社を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,270百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,292百万円、セグメント間取引消去67百万円及びのれんの償却額△45百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。